

モニタリング結果報告書

施設名 : 県立東高根森林公園

指定管理者 : 横浜緑地・西武造園グループ

施設所管課(事務所名) : 横浜川崎治水事務所 川崎治水センター

(平成22年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	11月10日	12月10日	月報と現地確認で概ね良好と確認
11月	12月10日	1月7日	月報と現地確認で概ね良好と確認
12月	1月11日	3月1日	月報と現地確認で概ね良好と確認
1月	2月8日	3月9日	月報と現地確認で概ね良好と確認
2月	3月10日	3月31日	月報と現地確認で概ね良好と確認
3月	4月8日	4月19日	月報と現地確認で概ね良好と確認

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る B : 提案どおり C : 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

- ①魅力的で人気の高いイベントの継続実施
- ②教育機関への様々な体験学習の場と機会の提供
- ③地域と連携した企画の実施
- ④多様なニーズに対応した公園管理運営を手配するパークコーディネータの配置
- ⑤QRコード活用した新たな自然解説システムによるサービス提供
- ⑥地域と協働でノベルティーやキャラクター開発

<実施状況>

- ①これまで通り各種イベントが継続実施された。
- ②ネイチャーゲーム、職業体験や課外授業の受け入れなどが実施された。
- ③提案を受け、流域で見られる「鳥の写真展」が開催された。
- ④配置された。
- ⑤QRコードを貼り付けた植物名板の設置が開始された。
- ⑥地域の人形作家によるキャラクターの作成、名前募集し結果公表された。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収入額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他収入 (前年同月料金額)		
年間予算額	50,160	44,100	0	50,160	0
上半期計 (a)	24,375	20,192	0 (0)	19,925 (4,029)	4,450
下半期計 (b)	26,184	23,908	0 (0)	25,374 (2,108)	810
10月	3,878	3,110	0 (0)	3,063 (699)	815
11月	4,879	3,928	0 (0)	4,265 (841)	614
12月	3,982	3,903	0 (0)	3,857 (0)	125
1月	3,699	3,677	0 (0)	3,006 (0)	693
2月	3,787	3,709	0 (0)	3,512 (0)	275
3月	5,959	5,581	0 (0)	7,668 (568)	-1,709
合計 (a+b)	50,559	44,100	0 (0)	45,299 (6,137)	5,260

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

10月から2月までの収支差額を活用して、3月に植物管理を重点的に取り組んだ。
下半期の収支については、ほぼ計画通りであった。

（今期に行った資本的な収入及び支出の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況	特になし	
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	177,980人	183,508人	△3.0%
下半期計 (b)	169,078人	165,248人	2.3%
10月	35,163人	32,701人	7.5%
11月	35,313人	34,899人	1.2%
12月	27,271人	26,337人	3.5%
1月	24,414人	25,780人	△5.3%
2月	22,087人	19,947人	10.7%
3月	24,830人	25,584人	△2.9%
合計 (a+b)	347,058人	348,756人	△0.5%

利用状況に関する意見等

〔 半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。 〕

5 苦情・要望等の状況 (施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月	5	0	0	1	14	20
11月	4	0	0	0	9	13
12月	3	0	0	0	11	14
1月	1	2	0	0	11	14
2月	1	2	0	0	13	16
3月	1	0	0	0	11	12

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
10月	1	0	1
11月	0	0	0
12月	0	1	1
1月	0	1	1
2月	0	0	0
3月	0	0	0

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔 類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。 〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・パークセンターのトイレが狭い	建物改築時に対応したい
	・	
職員対応	・職員が巡回して欲しい	朝夕の巡視と管理作業で対応
	・	
事業内容	・自販機を増やして欲しい	管理上の理由から実施しない
	・	
その他	・動植物採取禁止のための対策要望	景観上、生き物への配慮上実施しない
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	特になし
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		特になし	
月 日			

9 下半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	苦情・要望については、特に素早い対応が重要であり、それによって相手の方の過敏な反応が和らげられると思われる。 年度の後半の催し物には初参加の人が多く、口コミで開催を知ったと思われるので、地域と密着したイベントの開催が、利用促進の幅と量を増す要因になると考えられる。
施設所管課	下半期の公園利用者数の合計は前年度をやや上回っているが、ほぼ平年並み。 3月11日の大地震による施設の被害は無かったが、利用者数が地震後、減少した。日常的な管理業務は概ね良好に実施された。 事業計画に提案された「QRコード」による植物解説が開始されたほか、公園キャラクターの作成が行われた。ただし、提案内容のうち、計画調整中の事業については、残りの3年間で着実に履行していくことが望まれる。